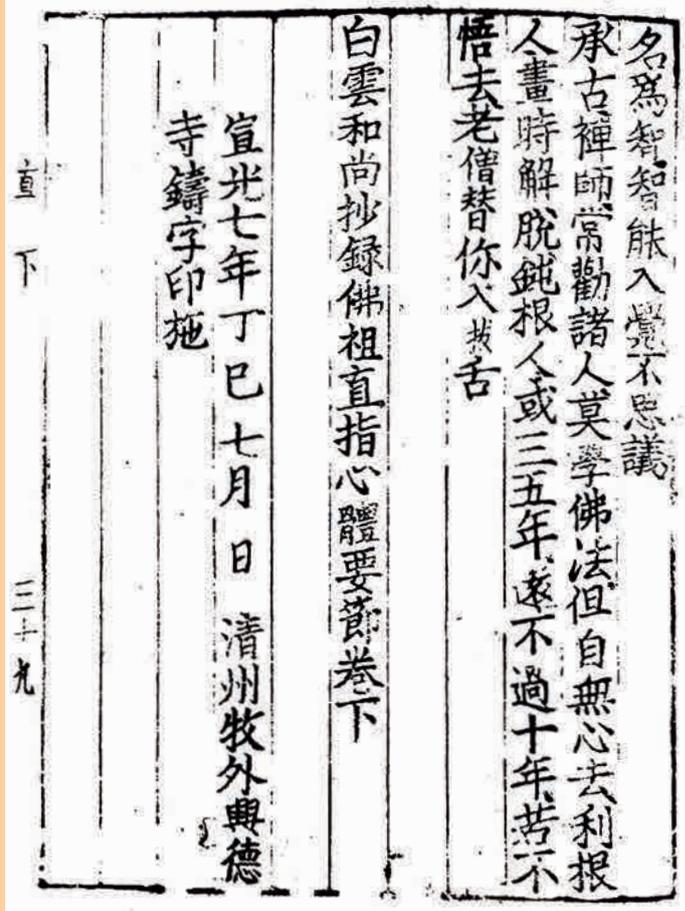


題字
大島文雄先生

人文

じんぶん

現存世界最古の高麗金属活字本 宣光七年丁巳(1377)七月日清州刊本



総会記念講演

人文学部と私の朝鮮学研究

名誉教授 藤本 幸夫

人文学部は戦後の新制富山大学文理学部を母体として発足した。昭和五十三年文理学部が理学部と人文学部に分かれ、現在の人文学部が誕生した。当時の人文学部の方々が衆知を集め、他大学にない環日本海学を中心に据えるというコンセプトの下に、日本で初めての朝鮮語・朝鮮文学コース、また他の地方大学には珍しいロシア語・ロシア文学などの諸コースが設置された。当時朝鮮学を担当し得る人物は少なかったが、梶井陟氏が朝鮮文学、そして私が朝鮮語学担当として赴任した。私は朝鮮語学研究に携わる一方、朝鮮学の基盤となる日本現存朝鮮本研究に志し、五十余年それに専念した。日本国内を中心に、台湾・イギリス・フランスやヨーロッパなどでも調査を行った。人文学部の方々は私の研究に理解を示され、私の研究はその方々の御好意に負う所が甚だ大きい。(会場日時等はP8をご覧ください。)

人文学を離れて思うこと 名誉教授 大工原ちなみ

夕焼けに染まる窓辺 魚瀬(久保) ゆう子(国文 昭和52年卒)

人文学部NOW

研究室から/日本史分野 教授 鈴木景二

報告 同窓会総会、人文の集い

研究室から/朝鮮言語文化分野 准教授 上保敏

卒業生進路状況

第8回 人文学部のあゆみ 准教授 入江幸二

新刊案内

開催案内 2023年度総会、第10回人文の集い

富山大学人文学部同窓会

〒930-8555 富山市五福3190

電話：(076) 445-6143

FAX：(076) 445-6142

E-mail：alumni1@hmt.u-toyama.ac.jp



人文学を離れて思うこと

名誉教授 大工原ちなみ



ないことから、教員数が減り、大変なことと思いましたが、後は優秀な先生方に託したいと思っています。

昨年三月末をもちまして、富山大学を退職いたしました。平成元年の秋に南山短期大学から、富山大学に助教として赴任し、三十数年務めさせていただきました。この間、大過なく健康で定年を迎えられたのもひとえに皆様のおかげと感謝いたしております。昨年は、私のほかにも、哲学の永井先生、言語学の呉人先生、日本語学の小助川先生、英語学の奥村先生、ドイツ文学の宮内先生が定年を迎えました。一度に六名が人文を去ることになり、一つの時代が終わったような気がいたしました。昔と違って後任人事が進ま

富山大学に赴任した時は正直なところ定年まで勤める気はなかったように思います。しかし、美しい自然や、海と山の幸にも恵まれた風土に魅せられました。子供を育てるうえで保育環境が良かったことも要因です。また、大学でも学生たちが素直で真面目に学問に取り組んでくれたので、本当に教え甲斐があり、教員冥利に尽きるとはこのことでしょうか。研究面でも赴任したころは、自由な時間が確保でき、思う存分読書にふけり、論文を執筆することができました。また、この間、文部科学省の若手在外研究員として、十か月間オハイオのケント州立大学等で研究する機会を得ることができました。

囲気が失われていったように思われ、大変残念に思っております。文部科学省の在外研究員の制度もなくなりましたし、授業コマ数の増加や、様々な学部運営上の仕事が増えて、研究や教育の準備に充てる時間が減ったように感じていました。特にこの三年余りは、コロナの流行があり、教員はオンラインの授業の準備に多くの時間が必要になりました。また、学生の皆さん、とりわけ四年生の皆さんは、ずっとコロナ禍の中で大学生活を過ごしてきたわけで、オンライン授業では友人も作りにくく、サークル活動も制限され、寂しい思いをされたと思います。ただ、この特異な経験は今後の人生でも必ずや生きていくと思えます。あと一年ですが、残された学生生活を大いに楽しんでください。

数年前、私が学部長を務めさせていただきましたところ、人文は不要とばかりに文部科学省も含めて、人文学をもっと世の役に立つよう変えるようにという風潮が生まれました。多くの知識人や、著名な財界の方々もこの風潮に反対し、人文学の有用性を説いてくださり、いつの間にかその風潮は消えていきま

した。年に一回開催されております国立十七大学人文学部部長会議の場でも、反対声明を作成し世に公表したこともありました。私が人文学を学ぶ学生に望むことが二つあります。一つは、真実を見抜く目を持ち、世の趨勢に流されず、自分の確固たる意見を持つことです。常々学生にもニュースや人から聞いた話などなんでも鵜呑みにしないで、自分で考えて検証してみるように話してきました。二つ目は、想像力を働かせ、寛容性を持つことです。私はアメリカ文学、とりわけユダヤ系作家の研究をしております。ご存じのようにユダヤ人は長い歴史を通して様々な差別を受けてきました。もともと最近にそれが極端な形に出たのが、ホロコーストです。ユダヤ人というだけで熱心なユダヤ教徒だけでなく、ユダヤ教には無関心だった人間が、虫けらのように銃やガスで殺害されかまどで焼かれたのです。もし、ユダヤ人も同じ人間であり、血も流れているし痛みも感じるといふ想像力が働けば、また、異なる宗教を信じる人も許容する寛容精神があれば、このような悲劇は防げたのではないのでしょうか。なかなかなくならないいじめや差別の問題も根は同じです。

私は、男女共同参画推進の仕事もしてきました。富山大学に始まり、途中からは、大学を離れて富山市、高岡市、飛騨市で事業推進に携わりました。男女間の格差は、とりわけ政治と経済分野で、今なお大きな問題として残っています。ドメスティックバイオレンスの問題も深刻なままです。最近ではダイバーシティの考え方から、外国人や性的少数者への施策も進んでいます。今盛んに言われているSDGsの考え方の根本にあるのも、「誰一人取り残されない」ということです。今後、皆が対等の対場に立って、違いを認めながらお互いを思いやってくつやみません。

現在は大学を離れ比較的時間も取れますので、卒業生の皆様もお声がけください。思い出話などいたしましょう。最後になります。人文学部のますますの発展と皆さまが健康で活躍されますことを祈っております。

(富山市在住)

夕焼けに染まる窓辺

魚瀬(久保)ゆう子(国文 昭和52年卒)



を、高校時代の恩師にお送りしました。すると、富山県児童文学協会を紹介してくださいました。早速入会。新聞などに童話を書かせてもらいました。幾星霜が過ぎ、最古参(最年長ではありませんよ。)の会員になった為、平成二十八年より会長を務めております。

平成二十七年に富山県立図書館を定年退職し、早くも七年が過ぎました。退職後の楽しみは、地元の図書館通い。家から徒歩十分、行きつけのショッピングセンターが近くに建っているという立地の良さから、折りに付け通っています。そこを見込まれ(?)滑川市立図書館協議会の委員を仰せつかって、今年度で七年目に入ります。少しはお役に立ってれば、良いのですが。

ところで、私はいつから図書館や童話というものに興味を持つようになったのでしょうか。思いつく限り、ある一つの場所が浮かんで参ります。昔、県庁前公園に県立図書館が建っていたことを御存知でしょうか。沿革をたどると、富山大空襲で焼失後、富山県立神通中学(現富山中部高校)の仮閲覧所で業務を再開しました。昭和二十四年九月には、表町(現在の県庁前公園)に図書館が建ちました。昭和四十四年九月に現在の呉羽に移転開館するまで、かの地にあったのです。後半の時期は、私の小学校時代と重なります。

家から歩いて三十分程でしょうか。図書館に入る際には、住所氏名を書かなければなりません。でも、そんなこと全然苦になりませんでした。児童室では、書棚にずらりと並んだ本が私を待っているのですから。片っ端から手に取って読みます。そんなある日、一冊の本に出会いました。宮沢賢治の伝記です。「あの物語を書いた人だわ」ずっと以前にラジオから流れて来た物語を思い出しました。残念ながら、物語の終盤に差し掛かっていて、全体像を掴むことはできなかったのですが、ラストの「たくさんのブドリのお父さんやお母さんは、たくさんのブドリやネリといっしょに、その冬を温かい食べ物と、明るい薪で楽しく暮らすことができたのです。」が、ずっと心に残っていたのです。思いがけず探していたことができた童話『グスコーブドリの伝記』を、早速手に取りました。そして、すっかり宮沢賢治の虜になった私は、次々と賢治の童話を読みふけります。いつかは自分も童話を書いてみたい、そんな密かな願いも、心の奥底に芽生えました。

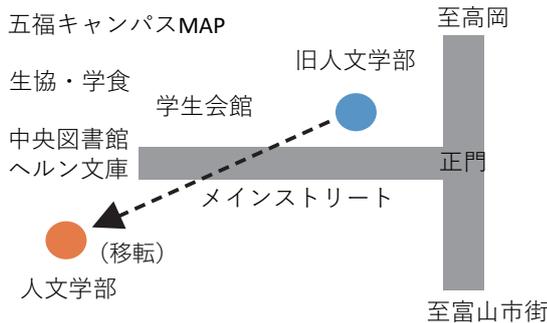
そんなある日のこと、借りてある本の返却期限が一週間ほど過ぎていくことに気が付きました。大慌てで返しに走ります。児童室には、もう子供の姿はありません。それで、少々照明を落としてあったのでしょうか。幾分暗く感じました。あるいは、窓の外が綺麗な夕焼けに染まっていたから、それに比して暗く感じたのでしょうか。その薄暗い部屋で、小父さんが机に向かっておられました。おぼろげと本を差し出す私を見て、「学校、何時に終わるの」と聞かれました。そして、私の答えを聞いて、「ずいぶん遅いんだねえ」とだけ言われました。どうやら、学校から帰るのが遅くて、なかなか返しに来られなかったのだらうと、優しく解釈してくださいました。ほっと安心して帰途に就いた私でした。

後に、自分が県立図書館に勤めるようになってから、あの時の小父さんはどなただったのだろうと、先輩方の中に面影を探しました。結局分かりませんでした。夕焼けに染まる頃、ふっと思うことがありました。「自分は、あの時の小父さんのように、今日いらした方を温かく迎え、そして安心と満足をお届けできたろうか」と。今しみじみ思います、私はたくさんの本に出合ってきましたが、同時にたくさんの人とも出会い、教え導かれて来たのだと。司書資格を通信教育で取得できると先輩方から教わり、更にスクーリングに際しても、受講される先輩に同行させてもらいました。途中で熱を出して休みましたが、先輩のフォローのおかげで、無事スクーリングを終えました。図書館実習は、富山県立図書館にお世話になりました。手際の悪い私を、よくぞ根気よく見守って下さいました。勤めてからも、上司や先輩に温かく迎えられる、同僚に励まされ、先輩に支えられた毎日でした。そして、山崎幸雄先生の存在。(残念ながら、昨年お亡くなりになられたそうです。)私は宮沢賢治ばかり読んできた人間ですから、大学入学時には読書にかなり偏りがありました。でも、山崎先生に出会ったおかげで、童話の世界の広がりを知ることができました。国文学専攻でありながら、山崎先生の御指導の下、アリス研究会ができて、『不思議の国のアリス』を原書で読んだのも、懐かしい思い出です。

山崎先生、本当に有難うございました。

(滑川市在住)

人文学部NOW <校舎今昔>



人文学部の校舎は1987年に中央図書館隣に新築移転し、1998年に講義棟、研究棟が完成して現在にいたります。また、学生会館も新築され、富大祭名物?!の池は、今はもうありません。

同窓生の
情報募集

人文学部同窓会では専攻科の同窓会や同窓生同士の交流などの情報を募集しています。会報やホームページに掲載したいと思います。情報提供は、同窓会事務局へお寄せください。



研究室
から

思想・歴史文化領域

歴史文化コース
日本史分野

教授 鈴木 景二

みなさま、お元気で歴史を楽しんでいらつしゃいますか。前回のこの欄(第三十五号 二〇一三年)には、富田正弘先生退職(二〇〇八年三月)、熊谷隆之先生着任(二〇〇九年四月)

を記しました。その後、熊谷先生は二〇二〇年(令和二)四月に京都大学大学院へ教授として赴任され、一年少し空いて二〇二二年六月に、長村祥知先生が京都文化博物館から講師として着任しました。日本史中世史の授業はもちろん全学の学芸員養成課程の主力として活躍しています。昨年は大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の時代考証も担当。



ときおり卒業生の方から、ご自身の卒業論文についてお問い合せを頂くことがあります。規則がある訳ではないのですが、日本史は慣例により保管してあります。何十年も経ったら「史料」になるかもしれません。もつと、現在の大学をめぐる情勢をみると、そのころ学部も日本史分野もどのような状態になっているのか、想像

ができません。日本史は文系学問の主要分野で汎用性も高く、学芸員養成課程を担っているのが現状を維持していますが、卒業生の皆さまのご活躍も大きな力となっています。どうか引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

の方は、全国的に進学者が減少

し、本学部でもわずかな内部進学者および社会人の方がときどき入学される状況です(現在、日本史は在籍者なし)。学生生活の面では、SNSでのやり取りが普通になりましたが、演習室のノートは今もかろうじて存続しています。

コロナ禍で行事中止が続いていますが、この春、久しぶりに卒業発表会を再開しました。そろそろ研修旅行や俱利伽羅峠探訪も、再開できないかと考えています。

報告

二〇二二年度

同窓会総会

日時▽二〇二二年七月二日(土)

会場▽とやま自遊館

二〇二二年度人文学部同窓会総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症状況もようやく落ち着き、三年ぶりの開催となりました。

講演一

旧制富山高等学校開校二〇〇周年を前に「富山高等学校開校記念碑」を読む

講師：理事・副学長
磯部祐二先生



講演二

新制富山大学の発足をめぐって

講師：人文学部准教授
入江幸二先生

二〇二二年度事業及び予算案について協議し、承認されました。「人文の集い」を三年ぶりに開催することを決定しました。引き続き役員人事案の審議に入り、理事の吉田幸二さん（昭和32年史学卒）の退任が承認されました。

質疑応答に続き、茶菓による交流会が行われました。黒田学部長、講師の両先生を囲み、遠くアメリカのカラマズー大学の杉森典子先生をはじめ国内外から駆け付けた同窓生たちは、和やかに交流を深めました。

報告

第九回

人文の集い

日時▽二〇二二年一〇月二十九日(土)

会場▽富山大学人文学部

「韓国での映画のよんな

二二年間のストーリー」

講師 藤本信介氏
二〇〇三年比較社会卒

カンヌ映画祭で主演男優賞など二冠に輝いた是枝裕和監督の映画「ベイビー・ブローカー」の監督を務めた藤本氏のお話は大変興味深く会場は満席でした。

終了後、交流会が開かれ留学希望の学生からの質問もありました。

同日午前には富山大学ホームカミングデーも開催されました。



研究室

から

言語文化領域

東アジア言語文化コース

朝鮮言語文化分野

准教授 上保 敏

朝鮮言語文化は、前身の朝鮮語朝鮮文学の創設から数えて四十五年ほどが経ち、その間、日本における朝鮮語の教育・研究の大事な部分を占めて来ました。これらひとえに、ここで学び果立って行って下さった卒業生の皆様のおかげです。



日々勉強しています。卒業生の皆様はいかがお過ごしでしょうか。また大学生活の所感はいかがだったでしょうか。ここで学ぶようになったきっかけは、様々なことだと思いますが、仮に朝鮮語がべらべらになりたい、通訳や翻訳家になりたい、なんて方がいらつしゃったとしたら、想像とかなり違っただろうと思います。授業や卒論で取り組んだ事は、何の意味があるのか、『李朝語辞典』を引きまくったあの日々は一体何だったのか、私の青春を返して下さい、なんて言いたくもなるでしょう。

先代の先生方についてお知らせしますと、創設以来、ご尽力下さった藤本幸夫先生は、二〇〇七年三月に定年を迎えられましたが、その後、二〇二二年六月に恩賜賞・日本学士院賞という荣誉ある学術賞を受賞されました。いつもコンピュータのキーをカチカチ鳴らされていたという油谷幸利先生は、二〇一五年三月に同志社大学で定年を迎えられました。授業で満洲文字をも伝授されたという岸田文隆先生は、現在、大阪大学で活躍中です。なお、一九八八年九月の梶井陟先生の逝去も私たちの来歴として留めておきたいと思えます。現在は朝鮮文学の和田とも美先生と朝鮮語学の上保、そして会話担当の非常勤講師宋有宰先生のご協力も得ながら学生たちと

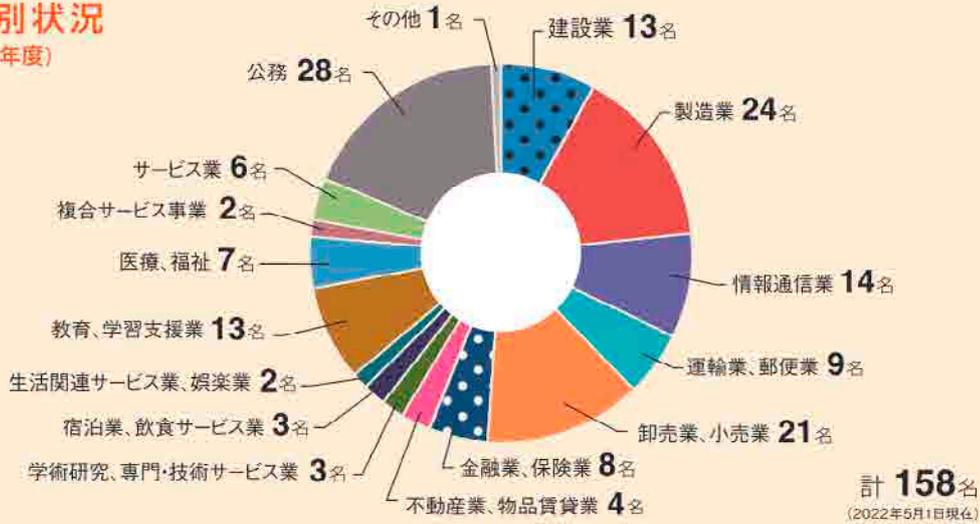
外国語の勉強は様々な方法があり得ますが、私たちは、大学で、人文学部でこれを学ぶという点に鑑みて、朝鮮語の修得それ自体に留まらず、その背景に流れる事柄、歴史的な経緯に至るまで洞察して行けるよう、皆様と共に勉強して来ました。世間で行き交うような皮相的な言説に惑わされず、より深層的な部分にまで触れた経験すらおぼろげになってしまったとしても、決して色褪せることはありません。どうか密かな誇りとして温存し続けて行って下さい。

卒業生の皆様でのご活躍は、後輩の学生たちにとっても大きな励みになっています。時々、近況などお知らせいただけましたら幸いです。

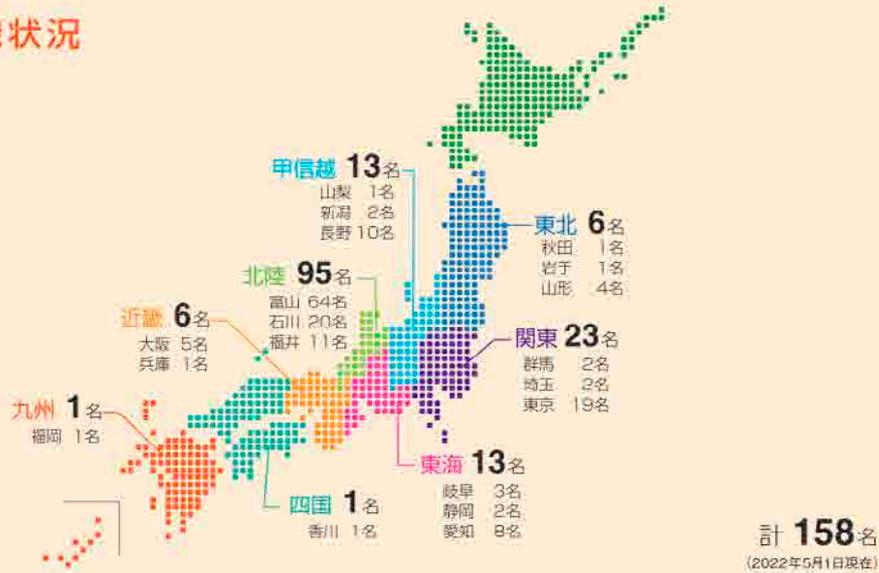
卒業生進路状況

出典『人文学部案内2023』（富山大学人文学部）

◆ 業種別状況 (2021年度)



◆ 地域別就職状況 (2021年度)



◆ 主な進路 (2017~2021年度)

公務

- 富山県庁 ● 富山・高岡・射水・黒部・砺波・南砺・氷見・魚津市役所 ● 入善・朝日・立山町役場 ● 富山地方検察庁 ● 石川・福井・長野・山梨県庁 ● 金沢国税局 ● 金沢市役所 ● 富山労働局 など

製造業

- (株)不二越 ● (株)スギノマシン ● 三協立山(株) ● 富士化学工業(株) ● 三晶技研(株) ● (株)村田製作所 ● (株)アューエツ ● 日本食研ホールディングス(株) ● プルボン(株) など

卸売業、小売業

- アルビス(株) ● (株)大坂屋ショップ ● (株)メガネのハラダ ● トヨタキビリティ富山(株) ● 石川日産自動車販売(株) ● (株)ニトリ ● (株)紀伊國屋書店 など

金融業、保険業

- (株)北陸銀行 ● (株)富山銀行 ● (株)富山第一銀行 ● 富山・高岡・新湊信用金庫 ● (株)北國銀行 ● (株)第四北越銀行 ● 野村證券(株) ● 明治安田生命保険相互会社 ● (株)ゆうちょ銀行 など

情報通信業

- 北日本放送(株) ● (株)ケーブルテレビ富山 ● (株)インテック ● (株)福井新聞社 ● (株)北國新聞社 ● NTTデータカスタマーサービス(株) ● 三菱電機ビジネスシステム(株) など

その他の業種

- 教育、学習支援業 ● 建設業 ● サービス業 ● 医療、福祉 ● 運輸業、郵便業 ● 複合サービス事業 など

進学

- 富山大学大学院 ● 東北大学大学院 ● 名古屋大学大学院 ● 大阪大学大学院 など

人文学部のあゆみ 第八回

学習院アーカイブに残る南日恒太郎の履歴書

富山大学准教授 入江 幸二



筆者は二〇一七年に学習院ア

ーカイブを訪問し、旧制高校初
代校長南日恒太郎の履歴書
〔履〕と略記〕を閲覧する機会
を得た。〔学習院 自明治卅五年
至卅七年 進退録〕に収められ
ており、学習院教授になる前の
経歴が記載されているが、『富山
高等学校十年史』〔十〕と略
記〕二二八―二三三頁にある記
述と異なる部分があるのでま
めておく(旧字は新字に改めた)。

十・明治二十二年七月、四年修
了と共に同中学校〔註・富
山尋常中学校〕を退き、越
えて九月、第四高等中学校
の入学試験準備の為、金沢
に赴いた。

履〔略〕明治廿二年四月病氣
ニヨリ退学ス
明治廿二年十一月石川県金沢
ニ赴キ、文学士本間六郎氏
ニ就テ英学ヲ修メ同廿三年
五月一家ノ都合ニヨリ帰県
シテ米人 Foster 氏ニ就テ英
学ヲ修メ富山ノ人安井八郎
氏ニ就テ歌学ヲ修ム

両者を比べると、石川に移つ
た時期に二ヶ月のずれがある。
なお石川と富山で誰から英語と
歌学を学んだか記載があるのは
興味深い。
十〔略〕十一月、銀行を辞職
して上京した。
履・明治廿五年十一月上京シテ
国語ヲ修メ亦タ国民英学会
ニ入り主トシテ井上十吉氏
及ビ英人 Smith 氏ノ下ニ英
学ヲ修ム
最初の上京後について履歴書
はやや詳しい。国民英学会は明
治・大正期に高い水準の英語教
育を行っていた塾・予備校のよ
うな教育機関である。
十〔明治二十九年に〕神田乃
武氏に懇請され、翌五月か
ら同氏の経営する正則中学
校で英語科の教師として勤
務することとなった。
履・明治廿九年四月 Estlake
氏塾ノ教師ニ聘セラレ
明治廿九年五月芝公園内正則
尋常中学校英語教師ニ聘セ
ラレ明治卅三年八月迺同校

二勤続シ当初月俸式拾円ヨ
リ漸次増給シテ五拾七円半
ニ至ル
イーストレイクは国民英学会
の創設者の一人である。履歴書
にはさらに、中学校の英語教師
となつてからも明治三十年から
「英人」Joyd 氏に教えを受
け、三十三年から「米人」Parry
氏（慶應義塾の教師）に就い
て「英文学ヲ研究」しているこ
とが記されている。

十〔略〕第三高等学校へ英語
科の講師として赴任した。
履・明治卅三年九月十八日 第
三高等学校大学予科英語科
講師ヲ嘱託セラレ年手当八
百円給与セラレ
年八百円の給与が現在でどれ
ほどの価値を持つか判断が難し
いが、公立小学校の平均月俸は
当時十〜十二円程度であった。
以上まとめを欠く内容だが、
南日先生の経歴の再確認に
資することができれば幸いであ
る。



新刊案内

人文学部ゆかりの方々の新刊を紹介します。

- 『内田百閒文学賞受賞作品集 第10回(岡山県)』
浅沼郁男(ロシア語・ロシア文学 平成5年卒)ほか著 作品社 2011年3月刊
- 『現代イギリス文学と他国』
結城史郎(准教授)共著 金星堂 2020年5月刊
- 『フランスの歴史を知るための50章』
南祐三(元准教授)ほか編 明石書店 2020年5月刊
- 『現代フランス哲学入門』
南祐三(元准教授)ほか編 ミネルヴァ書房 2020年7月刊
- 『過去と向き合う：現代の記憶についての試論』
南祐三(元准教授)ほか編 吉田書店 2020年10月刊
- 『東海道五十三次をよむ』
藤井史果(元講師)共著 三弥生書店 2020年10月刊
- 『唐代前期北衙禁軍研究』
林美希(講師)汲古書院 2020年12月刊
- 『日本の国際協力 中東・アフリカ～貧困と紛争にどう向き合うか』
須永修枝(特命助教)共著 ミネルヴァ書房 2021年8月刊
- 『語法と理論との接続をめざして・英語の通時的・共時的広がりから考える17の論考』
藤川勝也(准教授)ほか編 ひつじ書房 2021年9月刊
- 『世界の発酵食をフィールドワークする』
藤本武(教授)共著 農村漁村文化協会 2022年1月刊
- 『中国文学をつまみ食い「詩経」から「三体」まで(シリーズ・世界の文学をひらく4)』
武田雅哉ほか編、齊藤大紀(教授)ほか執筆、ミネルヴァ書房、2022年2月刊

- 『扇状地に広がる人々の営み：黒部市と入善町の調査記録』(地域社会の文化人類学的調査31)
藤本武(教授)、野澤豊一(准教授)編、富山大学人文学部文化人類学研究室、2022年2月刊
- 『アイヌのピース 美と祈りの二万年』
池谷和信編、呉人恵(名誉教授)ほか執筆、平凡社、2022年3月刊
- 『Ubiquitous mapping: Perspectives from Japan』
鈴木晃志郎(准教授)Springer Nature Singapore Pte Ltd. 2022年3月刊
- 『東アジアの展開 8～14世紀』(岩波講座世界歴史7)
荒川正晴ほか編、徳永洋介(教授)ほか執筆、岩波書店、2022年4月刊
- 『「日系」をめぐることばと文化 移動する人の創造性と多様性』
中井精一(名誉教授)ほか編、くろしお出版、2022年10月刊
- 『改定増補版 アメリカ映画に見る黒人ステレオタイプ：「国民の創生」から「ブラックパンサー」まで』
赤尾千波(教授)富山大学出版会 能登印刷出版部 2022年12月刊
- 『哲学のなぐさめ』西洋古典叢書
ボエティウス著、松崎一平(名誉教授)訳、京都大学出版会、2023年1月刊
- 『人文知のカレイドスコープ 富山大学人文学部叢書VI』
富山大学人文学部編 桂書房 2023年3月刊
- 『西洋史の扉をひらく 通史とテーマ史でたどる古代から現代』
入江幸二(准教授)ほか編著、晃洋書房、2023年4月刊

『人文』44号にて赤尾千波先生のお名前が「ちなみ」となっていました。お詫びして訂正します。

富山大学メールマガジン配信開始

2023年4月より月1回配信予定です。富山大学の最新情報をお知らせします。詳しくは富山大学ホームページをご覧ください。

文化人類学同窓会のお知らせ

文化人類学研究室同窓会では、40周年を機に2020年から毎年ニューズレター『文人』を発行しており、今年もNo.4を掲載予定です。



詳しくは研究室のホームページをご覧ください。

富山大学ホームカミングデー

今年度のホームカミングデーは高岡キャンパス大学祭と合わせ、10月14日(土)前、開催予定です。

2023年度 総会のご案内

日時 2023年7月8日(土)
総会 午後1時30分～
講演 午後2時40分～
交流会 午後4時～(会費無料)

場所 とやま自遊館
(富山市湊入船町9番1号 TEL076-444-2100)

講演：人文学部と私の朝鮮学研究
講師：富山大学名誉教授 藤本 幸夫

講演要旨

人文学部は戦後の新制富山大学文理学部を母体として発足した。昭和五十三年文理学部が理学部と人文学部に分かれ、現在の人文学部が誕生した。当時の人文学部の方々が衆知を集め、他大学にない環日本海学を中心に据えるというコンセプトの下に、日本で初めての朝鮮語・朝鮮文学コース、また他の地方大学には珍しいロシア語・ロシア文学などの諸コースが設置された。当時朝鮮学を担当し得る人物は少なかったが、梶井陟氏が朝鮮文学、そして私が朝鮮語学担当として赴任した。私は朝鮮語学研究に携わる一方、朝鮮学の基盤となる日本現存朝鮮本研究に志し、五十余年それに専念した。日本国内を中心に、台湾・イギリス・フランスやヨーロッパなどでも調査を行った。人文学部の方々は私の研究に理解を示され、私の研究はその方々の御好意に負う所が甚だ大きい。

お知らせ

第10回人文の集い

講演

「海外で働く夢は
忘れた頃に叶った！」

イタリアローマへの道

講師：橋本明美

(比較社会 平成14年卒)

期日：十月二十八日(土)

午前10時～11時三十分

会場：富山大学人文学部一階

第一講義室

講演要旨・英語をまともに話せないのに、海外へ行くかと打診され「はい」と返事。金沢市役所より日本政府観光局(ETICO)へ研修生として派遣され、二年目に新しく開設するローマ事務所へ。ローマの美しい街に感動する一方、何も無いゼロからのスタート。ゆるいイタリアに翻弄されながらドキドキの毎日を過ごしました。思いもよらず、ローマへたどり着いた道のりをお話します。

終了後、十一時五十分より隣接の第二講義室で昼食会を開きます。講演は参加費無料でどなたでも参加できます。昼食会は会費二千円(学生五百円)。どちらか一方だけの参加も可能です。総会、人文の集いとも同窓会事務局へお申し込みください。同封ハガキもご利用ください。

学位記授与式 2022年度



人文学部教員異動

退職(令和五年三月)

○小野直子(西洋史) 教授

○梅澤 礼(フランス言語文化) 准教授

○南 祐三(西洋史) 准教授

○藤井史果(日本文学) 講師

○齊藤大紀(中国言語文化) 教授

○新学部長就任(令和五年四月)

○新学部長就任(令和五年四月)

会費の納入状況

令和4年6月から令和5年3月まで208人の方から年会費を納入していただきました。また13名の方から終身会費を納入していただきました。ご支援ご協力厚くお礼申し上げます。

一 訃 報

- 鈴木 恭仁(英文学 昭和32年卒) 令和3年3月24日
- 武田(竹本)千賀子(国文学及び中国文学 昭和36年卒) 令和4年4月8日
- 谷井 秀廣(史学 昭和32年卒) 平成29年12月3日
- 八塚 昌具(英文学 昭和36年卒) 令和3年9月7日
- 横澤 康良(英文学 昭和30年卒) 令和4年1月21日

編集委員

- 田中 史子 谷口 恵子
- 成瀬裕美子 廣瀬 裕一
- 山田 恵美 山藤 登
- 山本 孝一 村本 浩子

二〇二三年三月二三日(木)富山大学学位記授与式が挙行されました。午前の全体式典の後、午後一時よりホテルグランテラスで人文学部の学位記授与式が執り行われました。黒田廉部学長の式辞に続き同窓会の米原寛会長が祝辞を述べました。厳粛な式典の後、学生たちは緊張から解き放たれ、恩師や友人達と写真を撮るなどしてなごりを惜しんでいました。同窓会主催の卒業祝賀会は昨年一昨年に続き中止しました。